

「二ヶ月過ぎて」

主任司祭 吉池 好高

高円寺教会に来て二ヶ月が過ぎようとしています。まだ二ヶ月かとも思えますし、もう二ヶ月かとも思えます。司祭が替って、教会の雰囲気はずいぶん変わったと感じられるかもしれませんが、あまり変わっていないと思われるかもしれません。

新任の二人の司祭にとっては、あまり変わっていないとお感じいただければ、とても幸せです。二人合わせても晴佐久神父様と李神父様が残して行かれたものをカバーしきれないでいますが、変わっていないとお感じいただいているなら、前任のお二人の神父様が高円寺教会に植え付けようとしておられたことが、確実に皆さんに受け止められ、根付いていると思われるからです。

事実この二ヶ月、二人の新任司祭は活発な皆さんの活動の場に顔を出すだけでも目の回る思いです。晴佐久神父様の数多くのカリスマの中でも、高円寺教会にとって貴重なものであった、コーディネート力が失われた今、気持ちも新たに、神父様とともに皆さんが築いてきた弾力的な組織力を頼りに、外に向かって開かれた、人々をあたたく迎え入れる姿勢を持った教会づくりの路線をともに歩んでまいりましょう。

新しく洗礼をお受けになられた皆さん、洗礼のときにいただいた信仰の喜びを今の日本の社会の中で、自分一人で保って生きることは至難なことです。私たちはみな、イエス・キリストの神を信じて生きてゆくために、自分たちの受けた信仰の恵みを確認しあえる場を必要としています。教会に通うだけでも、並大抵ではない努力を必要とする無神的な生活環境の中にあっても、せめて自分ことを信仰における兄弟姉妹として受け入れてくれた、カトリック信者としての自分の実家である教会の皆さんとのつながりを意識にとどめ、大切にしていってください。